

褒めて意欲アップを

三条の経営者 教員に講演

中央区

県内小中学校の教員を対象とした「教師力アップ講座」が27日、新潟市中央区の新潟教育会館で開かれた。講師の企業経営者らが「子どもを褒め、やる気を出させよう」などと語った。

指導力を強化してもらおうと、公益財団法人の新潟教育会(同区)が毎年開いている。46人が参加した。講師を務めた三条市の刃物メーカー「諏訪田製作所」の小林知行社長(51)は、自社に欠かせない職人の技術

を高めてきた経験を紹介。「特別ボーナスを出すよりも、顧客から『よく切れる刃物』と褒められたことが有効だった」と語り、子どもを評価する姿勢の大切さを強調した。

参加した五泉市の愛宕中学校教頭、佐藤昌樹さん(47)は「子どもの学習意欲を高める参考にしたい」と語った。

区役所の仕事体験

児童50人 災害対応など学ぶ

西 区

一日区長として小学生がテレビ電話のやりとりを体験したイベント。30日、新潟市西区

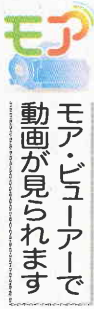


子どもが一日区長を務めるイベントが30日、新潟市西区役所で開かれた。市内12小学校から約50人が参加し、区の仕事の一端を学んだ。

子どもたちは区役所職員から西区の特徴として、枝豆、サツマイモなどの特産品や、ラムサール条約登録

湿地の佐潟があるなどと説明を受けた。対策室では、災害時に使われるテレビ電話で市役所と連絡を取った。子どもが「災害時にはどのように連絡を取るんですか」と尋ねると、市職員は「電話がつながらない場合、無線で市や区役所、警察、消防、学校と連絡を取ります」と答えた。来庁者に対し、交通安全の呼びかけも行った。

西区の神通小6年嘉瀬あゆかさん(11)は「職員のみんなで協力して、まちをよく感じていると感じた」と話した。



いがた News Network

英語で絵本楽しむ

新潟・中央区



県立図書館は先週、園児や小学生を対象に、英語で絵本を読み聞かせるイベントを同館で開いた。写真。2日間で計約260人の親子連れらが、英語の練習やクイズを楽しんだ。

絵本を通して子どもたちに外国語への関心を高めてもらうという企画した。

米国人で国際交流員のカイ・ウィズナー・ハンクスさん(26)が「はらぺこあおむし」や「おおきなななぶ」などの絵本を英語で読み聞かせると、子どもたちは出てくる英語を元気に繰り返した。

アメリカの国旗は可色かーな

湊町の歴史を実感

新潟・中央区

市内中心部の湊にゆかりある史跡を訪ねる「湊まち新潟歴史ウォーク」が26日、下町地区で行われた。写真。約50人が青空の下、約3・5キロを歩いた。

NPO法人新潟みなとクラブなどが主催。本年度全7回のうち3回目。

参加者は市歴史博物館敷地内にある旧新潟税関庁舎のほか、回船問屋として栄えた旧小沢家住宅や、かつて舟運のための堀があった早川堀通りを巡った。

ガイドから「税関庁舎は開港5港で唯一現存する税関の建物」「金刀比羅神社は水難に遭った回船を救った神様を祭っている」と説明を受けると、興味深そうに耳を傾けていた。

東区の主婦大橋清子さん(72)は「暑かったけど、みんなと一緒に歩いたから楽しんで歩けた」と話した。

